

ふくしまの森林文化調査カード

No.14

県 HP公開の可否 (可 ・ 否)

| | | |
|-----------|---|---------------|
| 区分 | 1. 森づくり 2. 森の恵み 3. 森と技 4. 森と暮らし 5. 森の文化財 6. 森の風景 | |
| 分野(ふりがな) | (分野) 石斧 | (ふりがな) せきふ |
| 地域独特の呼び方 | — | — |
| タイトル | 縄文・弥生時代の道具 | |
| 伝承地域 | — | |
| 由来(年代) | 旧石器時代における森林資源の利用については不明であるが、縄文時代以降、各種の道具に森林資源が多種多様に利用されている。 | |
| 内容 | 縄文時代や弥生時代の遺跡から出土する木製品を詳しく分析すると、道具によって樹木の種類が異なることが判る。このことから縄文時代において、人々の中に樹木に対する知識が経験や交差する情報を基に共有化されていたといえる。 樹木を加工して道具を作るだけでなく漆の樹液の利用も縄文時代前期以降盛んに行われている。三島町の荒屋敷遺跡(縄文晩期)からは土器に漆を塗ったものも出土している。 | |
| 大きさ・材質 | (大きさ) — | (材質) — |
| 見頃 | — | |
| 交通アクセス | JR新幹線:新白河駅から約4キロ、タクシー10分、バス15分 東北自動車道:白河インターチェンジ下車約20~30分 | |
| 文化財等の指定状況 | — | |
| 問い合わせ先 | 福島県文化財センター白河館・まほろん(Tel:0248-21-0700) | |

【フリーフォーマット】

キーワード



古代の道具と木製品の復元品